



2026年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年4月23日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.br31.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 CEO (氏名) ジョン・キム

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 白井 康平

TEL 03-3449-0331

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	7,471	13.5	403	4.2	425	12.3	272	12.4
2025年12月期第1四半期	6,585	18.4	420	54.0	378	36.6	242	48.7

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 195百万円 (1.4%) 2025年12月期第1四半期 193百万円 (11.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	28.29	
2025年12月期第1四半期	25.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	27,967	14,647	52.4
2025年12月期	31,803	14,981	47.1

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 14,647百万円 2025年12月期 14,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年12月期		25.00		55.00	80.00
2026年12月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,830	4.5	2,830	2.2	2,880	0.6	1,800	1.6	186.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期1Q	9,644,554 株	2025年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	2026年12月期1Q	8,717 株	2025年12月期	8,717 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期1Q	9,635,837 株	2025年12月期1Q	9,635,837 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものはありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年1月～3月)における日本国内の経済環境は、多くの企業において積極的な賃上げが進んだ結果、実質賃金がわずかにプラスへ転じ、堅調な企業業績等も勘案して所得環境の改善が進む兆しが見られました。一方で、世界は地政学的リスクが頻発する不安定な時代に直面し、サプライチェーンへの影響に対する懸念が拭えず、わが国への輸入資源の供給や為替の動向は予断を許さず、経済は不安が期待を大きく上回る状況です。

このような環境のもと、当社グループは「“We make people happy.”～アイスクリームを通じて、人々に幸せをお届けします。～」を企業理念に、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN(楽しいこと、嬉しいこと、感動すること)”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンを目指すとともに、企業の継続的成長に努めています。

また、当連結会計年度は、当社グループの長期経営計画(ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大)の6期目にあたります。その中で当第1四半期連結累計期間では、以下の様に一昨年、昨年と更新した過去最高売上をさらに上回る成長を記録しました。

- ・当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の売上が74億71百万円と過去最高を更新。
- ・当第1四半期連結累計期間の国内総小売売上が144億84百万円と過去最高を更新。
- ・一店舗当たりの小売売上が13百万円と過去最高を更新。

お客様や従業員の安全を第一に考えた衛生管理を徹底し、当社グループの長期経営計画(ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大)を推進、これまでに成功した施策は継続・強化し、さらに新たな施策を実行してまいります。

<ブランドパワー強化>

お客様のデマンドに合わせたマーケティング、サーティワンらしいプロモーションを展開しました。毎月の「新作フレーバー」をはじめとする魅力的なフレーバラインナップが選ぶ楽しさを牽引。また、自分へのご褒美や手土産としてご支持いただいているアイスクリームケーキの新カテゴリー「31パティスリー」や、「サンリオキャラクターズ」とのコラボレーション商品も幅広い層にご好評いただきました。

<デジタル化>

コミュニケーションツールの会員制アプリ「31Club」の会員数が、1,100万人を超えました。会員の購入額は売上全体の44.1%を占めています。また、予約受付も可能なモバイルオーダーを推進することで、お客様の利便性および店舗生産性向上に努めています。デジタルサイネージ導入をはじめとする、デジタル技術を活用した店舗オペレーションの簡素化にも一層の取り組みを進めます。

<スマート31>

スマート31施策として、サプライチェーン・マネジメントの最適化で昨今のコスト上昇を抑制しています。当社の組織に関しては、引き続きリモートによる就業、従業員福利厚生の拡充など働き方改革による最適化を推進しています。また、オフィスや生産工場、そして店舗でも、エネルギーの効率的な使用に努めております。また、2工場における食品残渣の削減、電気使用量の削減も図っております。

<販売拠点拡大>

店舗戦略として、新規商業施設への出店強化を継続するとともに、お客様のデマンドに沿って、ロードサイド、ビジネス街、駅前、繁華街など、様々な立地での展開を実施しています。その結果、当第1四半期末国内店舗数は1,078店舗と前年同期末に比べ40店舗の純増となっています。また、大学や会社の食堂、行楽地、サービスエリアや空港・駅への出店など、お客様の購入機会を増やすよう積極的に取り組んだ結果、当第1四半期末の国内サーティワンカップ販売等拠点（通常店舗と異なる販売拠点）数は431ヶ所、さらに台湾・ハワイで当社が運営する海外店舗数は52店舗となります。これにより、国内外合わせて当第1四半期末の当社総販売拠点数は1,561ヶ所と前年同期末と比べ88ヶ所の増加となっています。

当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の売上高は、小売売上高の伸長に牽引され、過去最高の74億71百万円（前年同期比113.5%）となりました。小売売上高も長期経営計画の4本の柱を中心に人気を誇るキャラクターとのコラボレーションの実現やデマンド戦略に沿ったプロモーションの実施により、過去最高を記録しました。

売上原価は38億70百万円（前年同期比120.0%）となりました。原料費の高騰並びに円安の影響に伴う売上原価の増加がありましたが、サプライヤーと協働して品質を保ちつつ原料調達コストを抑制したことと、工場での製造管理の最適化や生産スピード向上による製造原価低減を進めたことにより、売上原価の抑制が図られ、売上総利益は36億1百万円（前年同期比107.2%）となりました。

販売費及び一般管理費については、新作フレーバーの告知強化を行ったことや、積極的なデジタル広告の出稿、モバイルオーダー告知の強化、売上が増加したことによる物流費等の販売費の増加、販売拠点拡大のための活動費の増加などにより、前年と比べて2億59百万円増加したことで、31億98百万円となりましたが、販管費比率を昨年よりも抑えることができております。

以上の結果、営業利益は4億3百万円（前年同期比95.8%）となりました。これは、外的要因とビジネス成長に伴うコスト上昇を加味した通期業績予想の第1四半期目標を上回るものです。

また、経常利益は4億25百万円（前年同期比112.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億72百万円（前年同期比112.4%）となりました。

なお、当社グループはアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ38億36百万円減少の279億67百万円となりました。これは主に、決算資金（配当金5億17百万円、税金7億90百万円）、フランチャイジーに対する年次の販売奨励金（15億3百万円）、富士小山工場における生産能力増強を目的とした設備資金、これらの支払いのために現金及び預金が減少したことによるものです。

総負債は前連結会計年度末に比べ35億2百万円減少の133億19百万円となりました。これは主に、未払金の減少によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ3億34百万円減少の146億47百万円となりました。これは主に、配当金の支払いが親会社株主に帰属する四半期純利益を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月9日に公表いたしました「2025年12月期決算短信(連結)」の業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,192,901	4,041,181
売掛金	2,816,204	2,156,720
製品	1,772,942	2,437,062
原材料	1,011,223	1,093,922
貯蔵品	577,064	642,510
前払費用	512,326	503,740
未収入金	2,604,404	1,858,703
未収消費税等	317,899	316,420
その他	227,886	27,612
流動資産合計	17,032,852	13,077,873
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,576,776	5,579,511
減価償却累計額	△2,725,248	△2,772,531
建物（純額）	2,851,528	2,806,980
構築物	444,950	444,950
減価償却累計額	△340,303	△344,395
構築物（純額）	104,646	100,554
機械及び装置	5,982,154	6,080,909
減価償却累計額	△3,623,312	△3,695,355
機械及び装置（純額）	2,358,842	2,385,553
賃貸店舗用設備	4,173,173	4,130,015
減価償却累計額	△2,123,981	△2,129,077
賃貸店舗用設備（純額）	2,049,192	2,000,937
直営店舗用設備	2,182,976	2,221,883
減価償却累計額	△414,007	△539,930
直営店舗用設備（純額）	1,768,969	1,681,952
車両運搬具	108,039	109,177
減価償却累計額	△56,905	△56,010
車両運搬具（純額）	51,133	53,166
工具、器具及び備品	757,455	769,742
減価償却累計額	△666,571	△673,130
工具、器具及び備品（純額）	90,884	96,612
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	869,102	1,160,179
有形固定資産合計	10,839,662	10,981,300
無形固定資産		
のれん	187,328	186,544
その他	492,186	461,800
無形固定資産合計	679,514	648,344

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
投資その他の資産		
破産更生債権等	463	433
長期前払費用	244,859	238,573
繰延税金資産	275,513	285,282
敷金及び保証金	2,496,252	2,527,372
その他	235,003	208,177
貸倒引当金	△231	△216
投資その他の資産合計	3,251,860	3,259,622
固定資産合計	14,771,037	14,889,267
資産合計	31,803,890	27,967,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,292,305	1,106,328
1年内返済予定の長期借入金	310,762	300,008
未払金	6,806,060	3,645,320
未払法人税等	789,161	165,271
契約負債	2,585,070	2,583,252
預り金	401,573	1,022,325
賞与引当金	332,152	116,697
役員賞与引当金	178,800	28,700
その他	59,506	339,014
流動負債合計	12,755,393	9,306,919
固定負債		
長期借入金	1,723,291	1,648,289
退職給付に係る負債	88,585	95,075
役員退職慰労引当金	82,400	46,049
資産除去債務	223,108	225,242
長期預り保証金	1,932,111	1,980,273
繰延税金負債	17,575	17,947
固定負債合計	4,067,071	4,012,877
負債合計	16,822,464	13,319,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金	241,079	241,079
利益剰余金	13,654,194	13,396,828
自己株式	△17,519	△17,519
株主資本合計	14,613,040	14,355,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,893	37,112
繰延ヘッジ損益	8,286	5,738
為替換算調整勘定	304,204	248,818
その他の包括利益累計額合計	368,385	291,669
純資産合計	14,981,425	14,647,344
負債純資産合計	31,803,890	27,967,140

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	6,585,625	7,471,629
売上原価	3,225,852	3,870,312
売上総利益	3,359,773	3,601,316
販売費及び一般管理費	2,938,979	3,198,161
営業利益	420,793	403,155
営業外収益		
受取利息	5	6
為替差益	—	28,663
受取ロイヤリティー	11,811	3,576
その他	395	894
営業外収益合計	12,212	33,141
営業外費用		
支払利息	5,483	4,874
為替差損	39,826	—
店舗設備除去損	6,579	5,155
その他	2,401	1,005
営業外費用合計	54,290	11,036
経常利益	378,715	425,261
特別利益		
固定資産売却益	12,576	1,965
特別利益合計	12,576	1,965
特別損失		
固定資産廃棄損	17,872	10,568
特別損失合計	17,872	10,568
税金等調整前四半期純利益	373,419	416,658
法人税等	130,957	144,053
四半期純利益	242,462	272,605
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	242,462	272,605
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,269	△18,781
繰延ヘッジ損益	△13,751	△2,547
為替換算調整勘定	△43,889	△55,386
その他の包括利益合計	△49,371	△76,715
四半期包括利益	193,090	195,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,090	195,889
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間における減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及び、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	310,644千円	366,604千円
のれんの償却額	4,822	4,756